

## 平得大俣の市有地を、売ってしまっても良いのでしょうか？



(2018年10月3日FBページに投稿)

中山市長は、今年12月の市議会あるいは臨時市議会に、平得大俣の市有地を防衛省に売却する議案を出すと言っています。陸上自衛隊の基地を造るためです。

でも、ちょっと待ってください。

今年3月に行われた石垣市長選挙の結果はどうだったでしょう？

自衛隊配備について、

中山義隆さんは、必要性は理解、受入判断はしかるべき時に先送り、

宮良 操さんは、島のどこにも基地はつくらせない、

砂川利勝さんは、平得大俣白紙、配備先は住民投票で決める、

と主張しました。結果は、

中山さん 13,822票 (49%)、宮良さん 9,526票 (34%)、砂川さん 4,872票 (17%)

で、中山さんが当選しました。しかし、平得大俣配備に反対する2候補の合計得票数は、判断先送りの中山さんの得票数を上回りました(左図)。

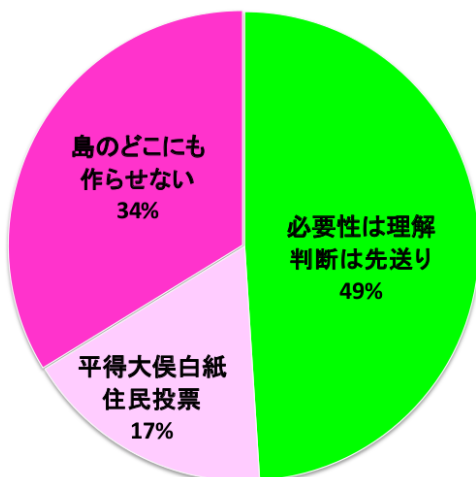
今年9月の石垣市議会議員選挙では、八重山毎日新聞が全候補者に平得大俣配備について意見をききました。「賛成」、「反対」、「慎重」、「その他」と答えた候補者たちの得票数を意見別に合計すると、「賛成」 9,716票 (38.5%)、「反対」 10,545票 (41.8%)、「慎重」 2,946票 (11.7%)、「その他」 2,023票 (8.0%)でした。平得大俣配備に「賛成」と言わなかった候補者たちの得票数は合計 15,514票で、「賛成」の 9,716票を上回りました(右図)。

もちろん、選挙で問われたのは配備問題だけではありません。

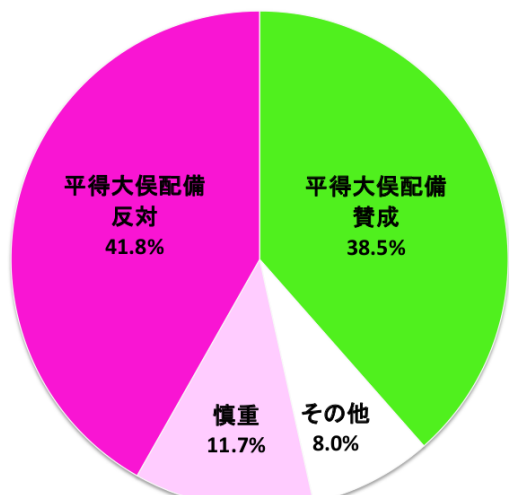
しかし、少なくとも、平得大俣の市有地を直ちに売却することに賛成する人が多数とは、とても言えない結果です。

この状態で、市有地売却を強行することは、許されません。一旦ストップして、みんなで良く考える必要があります。

どうしても急ぐ理由があるのなら、まず、住民投票などの方法で、平得大俣配備に対する民意を、直接問うべきです。



2018年3月石垣市長選3候補者の意見別得票



2018年9月石垣市議選全候補者の意見別得票